



会長 及川昭宏
 幹事 太田陽平
 会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327



ガバナー月信



佐沼RCホームページ

第2843回例会 2022. 12. 15 No.17

本日の出席率

・本日の出席率 75%

ニコニコボックス

- ・及川昭宏会長 急なお願いでしたが、村上正弘会員スピーチをお願いします。
- ・村上正弘会員 初めてのスピーチです。よろしくお願いします。
- ・飯塚仁哉会員 初のスピーチを行う村上正弘会員はどのような話をされるのか興味津々です。
- ・佐藤幸一会員 村上正弘会員の初めてのスピーチ、楽しみにしております。
- ・江川元徳会員 2022年楽しいロータリーでした。2023年も同様に意義ある楽しいロータリーをよろしくお願いします。
- ・八谷郁夫会員 村上正弘会員の初スピーチ、楽しみです。
- ・佐藤敬喜会員 本年色々とお世話になりました。来年もよろしくお願いします。村上正弘会員のスピーチに期待して。
- ・千葉吉男会員 大綱イルミネーション、カラオケ大会もあります。12月16日午後4時30分点灯です。是非見学にいらして下さい。
- ・菅野幸一郎会員 本来であれば tonight は家族クリスマスパーティーですが、中止になりとても残念です。村上正弘会員の今年最後のスピーチ期待します。
- ・布施孝尚会員 村上正弘会員のスピーチ期待します。
- ・菅原慶一会員 村上正弘会員のスピーチ期待します。
- ・杉田広仁会員 良いお年を迎え下さい。
- ・佐藤早智子会員 村上正弘会員の初スピーチ楽しみにしております。今日は今年最後の例会ですね。一年間大変お世話になりました。

- ・千葉正宏会員 村上正弘会員の卓話に期待します。勉強させていただきます。
 - ・加藤亮会員 村上正弘会員のスピーチに大いにご期待します。
 - ・伊藤幸子会員 今年最後の例会、良いお年をお迎え下さい。本日のスピーチ何が聞けるのか楽しみです。コロナにマケルナ!!
 - ・二階堂恭子会員 来年は明るい健康な年になりますように。今日のスピーチは村上正弘会員、どんなお話、仕事、それとも趣味のお話、楽しみです。
 - ・太田陽平幹事 本日のスピーチに期待して。
 佐々木崇会員 佐竹孝行会員 菅原文之会員
 遠藤光則会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員
 熊谷敏明会員 高橋利光会員 山田正会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 岩淵栄市会員
 大畑好司会員 佐藤哲弥会員 佐藤利尚会員
 阿部康史会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 及川昭宏会長

2022年最後の例会となりました。本来であれば夜間例会でしたがコロナの感染が予想より多く昼間例会に切り替えさせていただきました。

さて、今年度も半分が過ぎましたが慣れない会長職で皆様には様々ご迷惑をお掛けいたしましたと思います。この場をお借りして御礼申し上げますと共に残りの半年間のさらなるご協力をお願いいたします。

今年を振り返れば何とんでもロシアのウクライナ侵攻が最大の話題でしょう。当地域は欧州の中では比較的安定していると思われましたが、ソビエト崩壊後の民族主義の台頭で火が付きまして。マルクス・トゥッリウス・キケロという共和政ローマ末期の政治家、文筆家、哲学者は「私は最も正しい戦争よりも、

最も不正なる平和を取らん。」という名言を残しています。正義の基準は立ち位置で異なるので配慮の上で（これが不正なのでしょう）合意したほうが良いという事でしょう。

近代の戦争はそれぞれの正義感の違いで発生しており、それゆえ長く凄惨な状況が続くと推察します。経済的領土拡大であれば侵略地の住民の虐待などは最小限で復興に注力しますが正義、特に民族・宗教が絡むと相手を完膚なきまでに叩き潰すという状況になります。宗教の教えは民度とは違うところで影響力をもちますので共通認識は成り立ちませんね。

一般的に国際社会では政教分離がされているように見えますが、最近は影響力が減ったとはいえWASP（ホワイト・アングロ・サクソン・プロテスタント）が政治に与える影響はまだまだ悔れません。人が（人々が）他人に対して影響力を持ちたいと思うことは遺伝的な性（さが）なのだろうと思います。個人的には視野を広く持ち、知識を蓄えて（雑学と言われようが）人に良い影響を与えたいと思います。

幹事報告 太田陽平幹事

- ・一般財団法人比国育英会バギオ基金より
 2021-2022年度事業報告及び基金への寄付のお願いが届く。

各委員会報告

- ・姉妹クラブ委員会（高橋利光委員）
 川崎大師RC50周年記念事業にご参加の方は、打ち合わせを行いますので、例会終了後お集まり下さい。

今週のスピーチ

「最近の電気業界について思うこと」

村上正弘会員

昨今、電気の関係でいいますと、皆様が思い浮かべるのは値上げを近々控えていることだと思われます。

- ・電気料金の構成

$$\text{電気料金} = \text{基本料金（規制料金）} + \text{電力量料金} \\ \pm \text{燃料費調整額} + \text{再生可能エネルギー発電促進賦課金}$$

というので現在のところ計算し請求されている。電力会社については、発電、送電、売電まで含めて北海道電力から沖縄電力まで全国を10のエリアに分けて独占企業でなおかつ独占するかわりに必ず供給義務が伴って電力を供給している電力会社が10社あるということです。この10社で発電、送電、売電をやってきました。

2000年あたりから小売電力自由化という話が出まして、特別高圧といって大きい工場などで高圧線のまま引き込む所については2000年4月から小売自由化の形態をとっております。遅れて500~20kwで高圧電力を受ける事業所、2016年4月に全面自由化ということで家庭用と一般の小売まで電力の料金が自由化されてきました。

国の方でも目指すところは、電力の定期供給を確保すること、電気料金を最大限抑制（電気料金がこ

れ以上、上がらないように）して自由化をすることです。電気を利用される事業者の方々の選択肢の拡大ということで、コロナ禍になるまでは民間の資本家が参入してきたことにより高圧で事業されている方々は年間何十万円も電気料金が下がって恩恵を受けられた方もいらっしゃるかと思います。その中で何が問題かと言いますと、今一番高騰しているのが燃料費調整高、規制料金です。規制料金は上限が設定されています。

- ・基本料金（規制料金）と自由料金
 規制料金とは、従量電灯という区分で各家庭にいつている規定料金で法律の制約があり上限が設定されています。自由料金は電力購入の自由化に伴って生じたもので東北電力管内で言いますと「よりそう〇〇」と名前が付いているものです。民間の電気料金と肩を並べて競争するために東北電力が設定したものです。但し、この自由料金に関しては燃料費調整額についても法的な縛りがなくなります。自由に競争して下さいということで上限も下限もない料金体系になっています。
- ・電力会社の構造的変化と今後について。（東北電力の説明に基づくもの）

1. 発送電分離
 電力自由化の前に発送電分離ということで、発電と送電する会社を分社化しました。これは全国一律です。東北電力は発電所と売電に関して東北電力という名前。電線を整備したり、電柱を立てたり、電線を引張るといことは東北ネットワークという別の会社になります。この時点で電力供給側に日本卸電力取引所が発足し、そこで発電された電力を売買してそれをお客様のものとへ届けており、それぞれの会社で料金体系が決めます。
2. 再生可能エネルギーの固定価格買取制度 (FIT)
 新電力サービスについては、自前の発電所を持って発電するところが大体700社位出たのですが、そのうちほんのひと握りのところが、再生可能エネルギーであったり、火力発電所を整備したりで、数%でほとんどの新電力会社は卸売市場から電力を購入してネットワーク会社の電線網を使ってお客様の所へ供給するので、電力が足りなくてもこれまであった10社の電力会社が裏打ちをするということで停電する恐れはないという状況で自由化が始まり今に至っています。

- ・原発の停止
 東日本大震災で福島原発の事故が起こり全国一斉に原発が止まりました。ここ1~2年の間に稼働しているものがあり、5.9%まで電力が確保されています。今は火力発電に頼らなければならない状況でその燃料がある石炭、LNGなどほとんどが海外から輸入しているため、為替の影響、国際情勢などで値段が変動します。これを調整するのが燃料費調整額です。様々な要因で電力会社は赤字となっており、東北電力管内では来年4月から32.9%の値上の予定です。

一 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。